

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	税務関係団体補助事業				事業コード	810425						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	1 生涯にわたり学び続けられる機会の充実			施策コード	421						
事業担当	所属	08030000 財務部 税務課			所属長	山添 祥代						
会計情報	款	02 総務費	項	02 徴税費	目	01 税務総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	94	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	福知山市補助金交付規則、福知山たばこ商業組合補助金支給要綱、福知山納税貯蓄組合連合会補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・福知山たばこ商業協同組合 たばこ税は、市税収入の非常に重要な財源である。本組合はたばこ税についての情報提供並びに喫煙マナー向上及び健康問題の啓蒙活動事業を行っている。 ・福知山納税貯蓄組合連合会 本組合は広報誌「税のたより」、中学生の「税の作文」募集事業を通じ、税知識の普及と納税道義の高揚に努め、正しい申告と期限内納付、振替納税の利用拡大についてPRしている。											
対象者	市内の成人・中学生			対象者数	63,872		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	補助金交付先：福知山たばこ商業協同組合、福知山納税貯蓄組合連合会											
事業概要 (箇条書き)	・福知山たばこ商業協同組合及び福知山納税貯蓄組合連合会に補助金を交付した。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	80	福知山たばこ商業協同組合補助金									
	負担金補助及び交付金	47	福知山納税貯蓄組合連合会補助金									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	193	193	0	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	193	193	0		
予算財源内訳	① 一般財源	193	193	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	193	193		
	③ 執行額	132	127		
	④ 執行率	68.4%	65.8%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.20 / 0.00	0.15 / 0.05	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,600	1,325	0	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,732	1,452	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	たばこ税決算額	千円	554,608 / 536,171	538,308 / 540,022	565,005 / 527,516	/ -	540,022
中学校税の作文提出率	%	85.3 / 100	76.6 / 100	67.4 / 100	/ -	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	税の作文提出校数	校	11 / 11	11 / 11	11 / 11	/ -	11
	単位あたりコスト		17.6	12.0	11.5		
	たばこ組合活動項目数	件	7 / 7	7 / 7	6 / 7	/ -	7
単位あたりコスト		27.7	18.9	21.2			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 目的・目標の達成手段として適切で優先度の高い事業か たばこ税に関する啓蒙、税の作文コンクール開催による若年層からの納税意識の涵養のため必要な業務である。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か たばこ組合が取り組む未成年者喫煙防止活動・喫煙マナー向上等の活動や納税貯蓄組合が取り組む中学生を対象とした税の作文コンクールを開催するなど、たばこ税に関する啓蒙及び若年層からの納税意識の涵養を図るための活動を実施されており、最適な団体である。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 令和3年度は、税の作文において、福知山市の11中学校から478編の応募があった。中学生に対する税の啓蒙活動としては大きな効果があると考えられる。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>本事業は、たばこ税に関する啓蒙、税の作文コンクール開催による若年層からの納税意識の涵養のため必要な業務である。たばこ税が市税による歳入の4.7%を占める貴重な財源である一方、未成年者の喫煙による健康被害などが社会問題となっており、たばこ商業協同組合が実施する啓蒙活動は大変重要な意味を持つと考える。中学生の作文については、提出率の向上について連合会より働きかけを行っており、福知山市の中学3年生の67.4%の生徒が参加し税の啓蒙活動として大きな成果ではあるものの、昨年より提出率が減少していることは課題である。</p>		
改善策	<p>たばこ組合については、たばこ税に係る啓蒙普及活動を行い、公益・公共性を鑑みた活動を行っている。また、納税貯蓄連合会については、納税道義の高揚に係る活動を実施しており、本市が実施すべき納税啓蒙活動の補完的役割を担っている。今後においても、たばこ税を健全な財源として確保するための啓蒙活動や、若年層の納税意識の向上を図る租税教育の一環として、税の作文募集の積極的な取組を推進する必要がある。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	社会教育委員会議運営事業				事業コード	630232						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	1 生涯にわたり学び続けられる機会の充実			施策コード	421						
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	浅田 久子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	228	頁
計画期間	開始年度	昭和59年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	社会教育法、福知山市社会教育委員の定数等に関する条例、福知山市社会教育委員の会議運営規則											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	住民が生涯にわたり学び続けられる機会や学習等の教育ニーズを行政施策に反映すること、また、社会教育事業の調査・研究、社会教育のあり方について積極的に議論をし、様々な取組の提案や答申、提言を教育委員会に対して行う。											
対象者	福知山市社会教育委員			対象者数	8		単位あたりコスト	377.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	社会教育委員会議の開催(12回/年程度) 令和3年度提言提出(2年に1回程度) 中丹・京都・全国の研修会等に参加											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬	664	委員報酬									
	需用費	8	事務用品、冊子(社教情報)購入費									
	負担金補助及び交付金	25	中丹・府分担金									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	551	865	598	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	551	865	598		
予算財源内訳	① 一般財源	551	865	598	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 2	0		
	② 配当予算	549	865		
	③ 執行額	338	697		
	④ 執行率	61.6%	80.6%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.27 / 0.00	0.29 / 0.00	0.29 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,160	2,320	2,320	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,498	3,017	2,320	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	提言実施数	回	1 / 1	/	1 / 1	/ 0	隔年ごとに1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	会議開催回数	回	15 / 12	5 / 6	11 / 12	/ 6	12
	単位あたりコスト		59.8	67.6	63.4		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育法に基づく設置であり、市民の声を社会教育行政に反映するという役割を担っており、教育委員会に答申や提言をする機関として必要。令和3年度は、社会教育活動の実践ツールとして「情報のあり方や活かし方」についての必要性を認識し、議論を重ね提言の作成となった。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 委員定数は、条例に基づき10人以内(第19期は8人に委嘱)で、運営を行い、令和3年度は対面に加えてオンラインでの会議を実施した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な課題等の調査研究を踏まえ、社会教育に関する答申や提言を教育委員会に対して2年に1度行っていただき、市の社会教育・生涯学習の推進事業に反映させている。令和3年度は、「社会教育活動における情報の活かし方～情報の共有を通じて地域のつながりを深める～」と題した提言を作成。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍において、運営に工夫を重ね、オンラインでの会議の開催等新たな活動のあり方を模索し、行った。 ●課題として、提言を社会教育活動に具体的に活用できる方法を考えなければならない。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ●社会教育・生涯学習に対する市民の意識の深化、学校・地域との連携、協働等について、広い知見を持ち、社会教育に関心と熱意のある委員の確保を進める。 ●令和4年度は、令和5年の提言の作成に向けての調査・研究の年であり、提言の活用方法も視野にいれた研究を行う。 ●提言書以外にも随時、コロナ禍における福知山市の社会教育についてなど、今後の社会状況に応じた社会教育の在り方や現代的課題の解決に向けた具体例の提案についても協議検討を行う場とし、市民が心豊かで充実した生活を送り、「共に幸せを生きる」社会の実現を目指す。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	生涯学習一般管理事業				事業コード	630240						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり						
	施策名	1 生涯にわたり学び続けられる機会の充実			施策コード	421						
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	浅田 久子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	228	頁
計画期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	生涯学習課の事務を円滑に行い、生涯にわたり学び続けられる機会を充実させる											
対象者	生涯学習課職員				対象者数	19		単位あたりコスト	531.6			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	市民対応、議会対応、課内調整など課の庶務、予算にかかる事務 社会教育・生涯学習に関する社会教育事業の後援、福知山市生涯学習まちづくり出前講座の実施に係る計画等 事務用品の購入や維持管理											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	旅費	22	職員旅費(社会教育研究協議会、地域学校協働活動推進委員会、人権教育指導者研修会)									
	需用費	501	消耗品費(事務用品、用紙、消毒用物品他)、印刷製本代(社会教育事業のまとめ、社会教育の重点)									
	役務費	543	電話代、郵送料									
	使用料及び賃借料	395	複写機使用料									

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,380	1,305	1,738	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	1,380	1,305	1,738						
予算財源内訳	① 一般財源	1,380	1,305	1,724					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	14					
決算情報	① 流充用額	△ 152	156						
	② 配当予算	1,228	1,461						
	③ 執行額	1,228	1,461						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.70 / 0.00	1.08 / 0.00	1.08 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,600	8,640	8,640	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,828	10,101	8,640	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	まちづくり出前講座実施回数	回	/	8	/ 12	9	/ 12	12
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	生涯学習課事務事業数	事業数	50	/ 50	50	/ 50	50	50
	単位あたりコスト		25.1	24.6	29.2			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 学びの場づくりのため、必要な事務的経費及び関係各課、団体等との連絡調整、庶務的経費として必要である。 令和2年度の社会教育事業をまとめた生涯学習情報誌を作成するなど、市民へ向けて生涯学習の推進を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 事務用品等は在庫管理を徹底し、安価な物品調達をするなど予算執行を行った。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育の重点や社会教育事業のまとめを作成・配布することにより、教育目標や生涯学習事業の情報提供ができた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習課事業の事務的経費として適切な執行を行っている。事務に係わる用品等は、計画的な調達と在庫管理で、無駄な購入のないように実施している。 遅滞ない事務執行により、適切な市民サービスを提供できた(定性的評価)ことにより、社会教育の重点に基づき、福知山市民の生涯学習を豊かにするための事業を進めることができ、共に幸せを生きる地域社会を支える一役を担うことができたと思う。 ●「福知山市生涯学習まちづくり出前講座」において、多様化する学習ニーズや市民の生きがいづくりに向けて、より豊富なメニュー提供を行うため、令和3年度は外部団体からの講師派遣依頼を行い、(公社)福知山市文化協会の加盟団体より計43講座をメニューに追加させていただいた。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ●スクラップ&ビルドを心がけ、事業統合等を検討しながら市民サービスの向上に努める。また、生涯学習社会の実現に向け、学校教育と社会教育の連携・融合の視点を大切にしながら人がつながる地域づくりを進める事業を展開する。 ●令和4年度より、旧三岳山の家管理事業を生涯学習一般管理事業に統合する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)